

# safehub

## Safehub SEB-2001 設置ガイド

Safehub SEB-2001は、地面揺動センサーで、リアルタイムで建物固有の地震被害情報を提供し、緊急時の対応と復旧を迅速に行うことができます。簡単に設置でき、低価格のセンサーデバイスと高度なデータ分析を組み合わせることで、Safehubは地震発生後数分以内に個々の建物やポートフォリオの被害予測を計算します。クラウドベースの Safehub Global Platform を通じて、ビルの所有者はテキストや電子メールによるアラートやウェブダッシュボードを介して実用的なデータに即座にアクセスすることができ、ビルの評価に優先順位をつけ、リソースを集中させ、可能な限り迅速に業務を再開させることができます。

本設置ガイドでは、Safehubの地面揺動センサーデバイスをビルに設置する方法をご紹介します。設置に先立ち、お客様は、Safehubまたはお客様のエンジニアに建物内に設置するデバイスの数や最適なデバイスの位置についてご相談下さい。

以下のセクションでは、Safehubを1台設置するために必要なステップの概要を説明します。

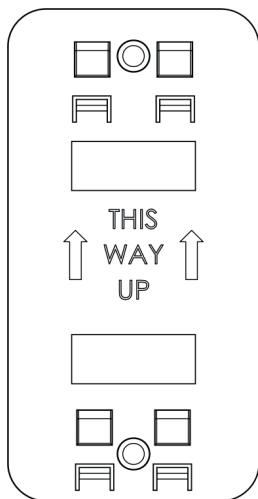
# 同梱内容物

Safehubデバイスには以下のコンポーネントが搭載されています。

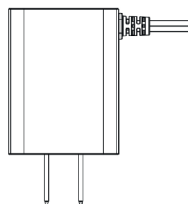
- Safehub SEB-2001 デバイス (1)
- SEB-2001 設置ガイド (1)
- 取り付けブラケット (1)
- 3/16インチドリルビット(1)
- 取り付けネジ (2)
- AC/DC電源アダプタ (1) - 国際バージョンには、異なる国際的なコンセント構成用の4つの異なるプラグアダプタも含まれています。



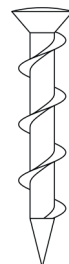
SEB-2001デバイス



取り付けブラケット



AC/DCアダプター



ネジ (2)



ドリルビット

# デバイスの配置

設置に先立ち、お客様は、Safehubまたはお客様のエンジニアに建物内に設置するデバイスの数や最適なデバイスの位置についてご相談下さい。建物の高さや、セットバック、大規模な平面図、複数の翼など、様々な建物の不規則性の存在などの要因に基づいて、適正なデバイスの数が決定はされます。

一般的に、1階建てと2階建ての建物の場合、十分な携帯電話サービスが提供されている建物の最低地点に1台のデバイスを設置する必要があります。3階建て以上の建物には2台以上のデバイスを設置することをお勧めします。3階建て以上の建物では、最低でもセルラーサービスが十分にある建物の最下点に1台、可能な限り最上階に1台のデバイスを設置します。

設置されているデバイスの位置は、床面、床上の高さ、各デバイスの方位(「Safehub」の文字が向いている方向を度数で表し、90度は東です)、その他デバイスの位置を示す記述を含めて、お客様の参考になるように、Safehubにお知らせください。例えば、「Knoll氏のオフィススイートの向かいの3階の廊下で」というような場所の説明が適切でしょう。

Safehubでは、デバイスを設置する際に以下のガイドラインの使用を推奨しています。

- 各デバイスの好ましい位置は、外壁または構造要素(例えば、重量支持柱)上です。
- 各デバイスを電源コンセントの隣に置き、できればスイッチで制御されないコンセントを使用してください。場所を選択したら、「セルラー接続のテスト」と題された以下のセクションを参照して、選択した場所のセルラー信号の強度を確認してください。
- 可能であれば、非常用電源に接続されたコンセント(赤色のコンセント)に差し込むことをお勧めします。
- 可能な範囲で複数のデバイスを並べること、つまり各階の似たような場所に設置することが望ましいです。
- 縦位置に設置されていることが必要です。

# ハードウェアの設置手順

Safehubデバイスは以下のサブセクションで説明されている手順で設置することができます。

## デバイスの位置

上記のように、デバイスに最適な位置を探します。

## 箱の中身を取り出し

箱を開けて内容物を取り出します。上記の「同梱内容物」で定義されているように、すべての内容物が存在することを確認してください。

## 壁コンセントのテスト

取り付けブラケットを取り付ける前に、AC/DCアダプタの一端をデバイスの左側のプラグに、もう一端を壁のコンセントに差し込んで、壁のコンセントをテストしてください。デバイスには3つのライトがついています。右端のライトは、電力がデバイスに印加されていることを示すために、白色でなければなりません。ライトが点灯しない場合は、下記のトラブルシューティングを参照してください。

## セルラー接続のテスト

所望の場所でセルラー接続をテストするためには、デバイスをテストする前に、まず、ユーザが携帯電話を使用して、その場所でのセルラー接続の強度を確認することが推奨されます。

本機のセルラー接続をテストするには、本機の背面にある電源ON/OFFボタンを約2秒間押し、本機の電源を入れます。良好なセルラー接続が確立されると、デバイスの一番左のライトが緑色に点灯します。ライトが赤/オレンジの場合は、デバイスを別の場所に設置することをお勧めします。左端のライトが緑色になるまでこの作業を繰り返します。セルラー接続の確立には2分程度かかる場合がありますのでご注意ください。

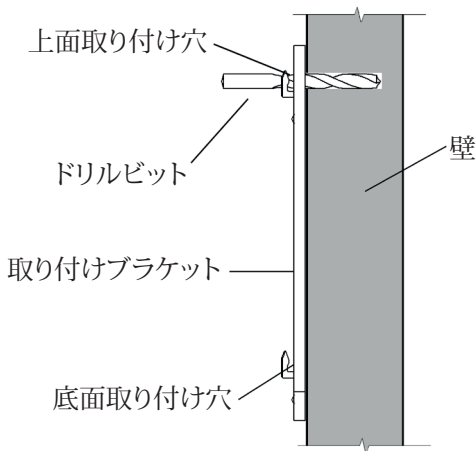
## 取り付けの準備

コンセントの右に約3インチの場所を選択してください。

## 取り付けブラケットの位置決め

3/16"ドリルビット(付属)をドリル(付属していません)に挿入します。取り付けブラケットを壁に当てて希望の位置に保持し、取り付けブラケットの上部と下部にあるネジ穴を探します。これらの穴は、壁に穴を開けるために使用されます。

ブラケットをしっかりと所定の位置に保持し、壁に上下の穴をドリルで開けます。下の図を参照してください。

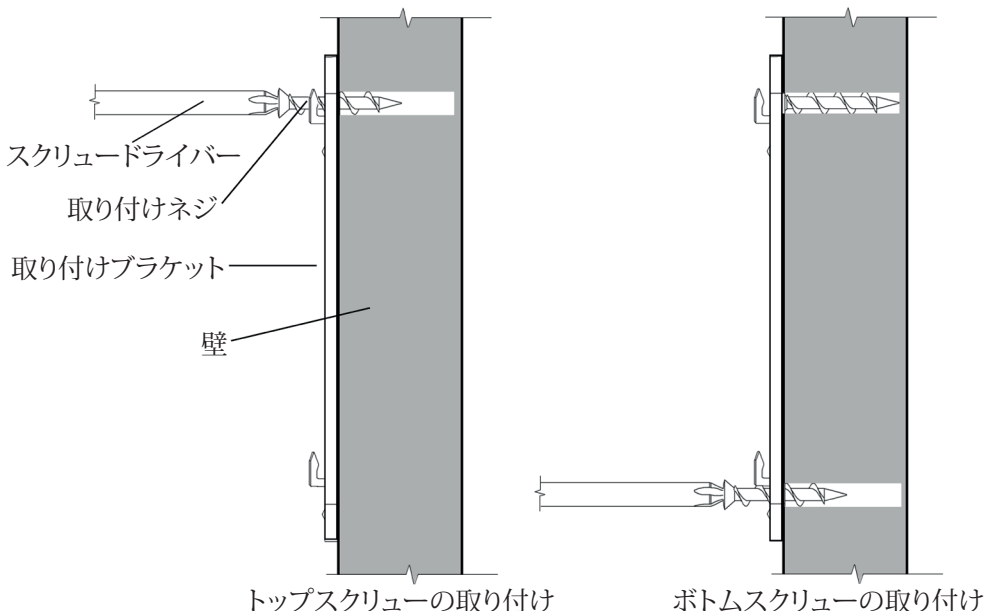


## 取り付けブラケット穴をドリルで開ける

取り付け面が壁に穴を開けることができない場合はエポキシ樹脂を使用して取り付け板を壁に接着することをお勧めします。詳細については、「トラブルシューティング」のセクションを参照してください。

## 取り付けブラケットを壁に固定する

ブラケットの「ThisSideUp」の矢印が上を向いていて、ブラケットの向きが上下にまっすぐになっていることを確認してください。2本の取り付けネジ(付属)とプラスドライバー(付属していません)を使用して、ブラケットの上部と下部にあらかじめ開けた穴を使用して、取り付けブラケットを壁に固定します。下の図を参照してください。

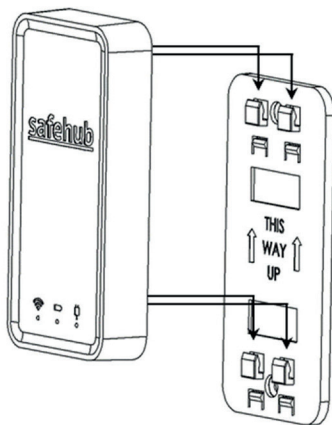


取り付けブラケットを壁に固定する

## 取り付けブラケットにデバイスを取り付ける

Safehubデバイスの背面にある取り付け穴を取り付けブラケットのタブに挿入し、デバイスがしっかりと定位置になるまで下向きにスライドさせます。デバイスが固定されると「カチッ」と音がするはずですが。

Safehubデバイスをブラケットに無理に押し込まないで下さい。デバイスが簡単にスライドしない、または「カチッ」という音がしない場合は、デバイスの向きを確認してください。下の図を参照してください。詳細については、「トラブルシューティング」のセクションを参照してください。



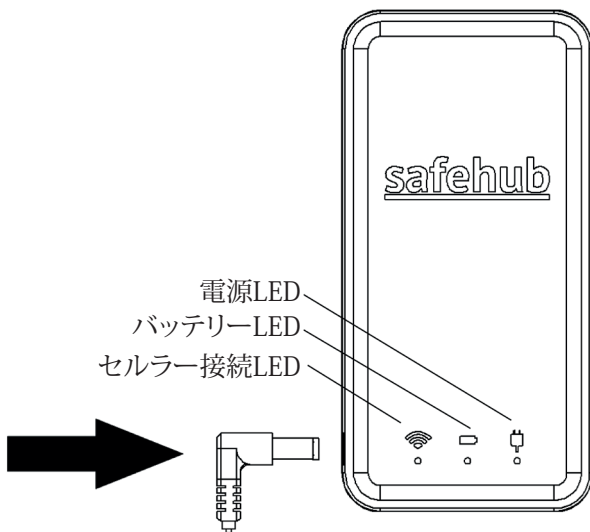
Safehubをブラケットに取り付ける

## 電源アダプタを接続する

電源アダプタの片方の端を壁に差し込み、もう片方の端をSafehubの左側の電源プラグに差し込みます。下の図を参照してください。

デバイスの前部の右端のライトはすぐに白くなり、良好な電源接続を示します。

1～2分後、デバイスの前面にある左端のライトが緑色に点灯し、良好なセルラー接続を示します。これらのいずれかが発生しない場合は、以下のトラブルシューティングのセクションを参照してください。



AC/DCアダプタをSafehubに挿入します



# デバイスの立ち上げ

デバイスが設置され、上記の手順で電源が投入されると、デバイスは自動的に電源を投入し、セルラー接続を確立する必要があります。セルラー接続には最大2分かかる場合がありますのでご注意ください。

デバイスが正常に動作している場合、デバイス前面のLEDは以下のようにになっているはずですが、これらのLEDの正確な位置については、上記の図を参照してください。

- 左端のLED：セルラー接続。このLEDは緑色のはずです。赤/オレンジ色の場合は、トラブルシューティングのセクションを参照してください。
- 中央のLED：バッテリーの状態。Safehub デバイスには充電式バッテリーが内蔵されています。コンセントの電源が遮断されるような状況でも使用できるバッテリーです。本体を壁に差し込むと充電中になります。完全に充電されているときは、ライトが緑色に点灯しています。詳細については、下記のトラブルシューティングを参照してください。
- 右端のLED：電源接続。このLEDは、電源接続が良好であることを示すために白色でなければなりません。白くない場合は、トラブルシューティングのセクションを参照してください。

## 取り付けブラケットからのデバイスの取り外し

場合によっては、建物内でデバイスの位置を変更したり、建物から建物へデバイスを移動させたりする必要がある場合があります。このような場合は、デバイスを取り外す必要があります。

デバイスを取り付けブラケットから外すには、まず、電源アダプタをデバイスから外します。次に、デバイスを下から押さえて、取り付けブラケットから外れるまで押し上げます。電源を切るには、本体背面のボタンを約2秒間長押しします。下の図を参照してください。



デバイスの電源がオフになる  
まで押し続けます(約2秒)。

### Safehubデバイスをオフにする

デバイスの設置場所を移動する場合は、AC/DC アダプタと取り付け金具を取り外して、新しい場所に再設置する必要があります。

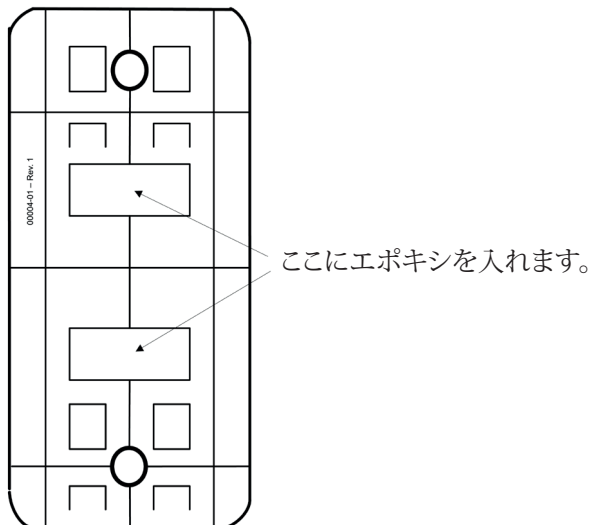
# トラブルシューティング

ここでは、いくつかのトラブルシューティングのヒントを説明します。

## 壁に穴を開けることができない

建物の建て方によっては、取り付け金具の壁に穴を開けられない場合があります。

一つの選択肢としては、エポキシを使用することです。取り付けブラケットの背面に、下の図のようにエポキシを数滴垂らします。取り付けブラケットを所定の位置に押し込み、エポキシが硬化するまでしっかりと保持します。硬化時間はエポキシ容器の裏面を参照してください。



エポキシを使用した取り付け金具の接着

## 取り付けブラケットにデバイスを挿入できない

取り付けブラケットには、デバイスの背面にある穴と位置合わせをするための上下のタブがあります。Safehubデバイスを取り付けブラケットに挿入できない場合は、以下の点を確認してください。

- 背面の取り付け穴に障害物がないことを確認してください。
- 取り付けブラケットのタブが破損していないことを確認してください。
- ネジが壁に完全に挿入されていること、ネジの頭が取り付けブラケットの穴に適切に凹んでいることを確認してください。

取り付けブラケットのタブがデバイスの背面にある取り付け穴に合っていることを確認してください。それらの位置を合わせ、デバイスの背面が取り付けブラケットに接触したら、デバイスが所定の位置にカチッと音がするまで、デバイスを静かに引き下げます。

## セルラー接続LEDが赤色のまま

上記の設置手順に沿って設置した場合、デバイスの設置場所が良好なセルラー電波を受信していると判断され、LEDが最初は緑色に点灯していた場合、セルラー接続LEDが赤色に点灯しているのは、セルラーネットワークがダウンしていることを意味している可能性があります。

これをテストするには、電源アダプタをデバイスから取り外し、上記の取り外し手順を使用して、デバイスを取り付けブラケットから取り外します。デバイスは電源を入れたままにしておく必要があり、バッテリーを使って動作します。その後、建物内の別の場所に行き、LEDが緑色に変化するかどうかを確認します。

あるいは、ユーザーは、携帯電話を使用して、その場所でのセルラー接続を迅速にテストすることができます。

## バッテリーLEDが緑色ではない

バッテリーLED(デバイス前面の中央のLED)が黄色または赤になっている場合は、充電式バッテリーの残量が少ない(黄色)か、バッテリー切れ(赤)であることを意味します。右端の電源LEDが白色になっていることを確認し、デバイスに電源が供給されていることを確認してください。

コンセントがスイッチで制御されており、かつスイッチがOFFになっていて、Safehubデバイスが電池で動作している可能性があります。その場合は、スイッチを入れてコンセントの電源を回復させてください。バッテリーが充電され、最終的には緑色になります。

バッテリーが故障したと思われる場合は、このドキュメントの後ろにある連絡先を使ってSafehubに連絡してください。

## 電源LEDが点灯しない

電源LEDは、デバイス前面の右端のLEDです。このLEDは、電源が投入されているかどうかによって、白色になるか、または消灯します。

電源LEDが元々白色だったが、現在は消灯している場合は、コンセントが消灯しているスイッチで操作されていないことを確認してください。これが発生した場合、デバイスのバッテリーが切れてしまい、充電が少なくなるとバッテリーLEDの色が変わります。出力を回復させます。右端のLEDが白くなるはずですが。

デバイスが電源から切り離されるとピープ音が鳴ることに注意してください。

## 安全性への配慮

本製品を設置する際には、以下の安全要件を遵守することをお勧めします：

- 本製品を水がかかる環境に設置しないでください。
- 本製品をスペースヒーターや暖房ダクトなどの熱源の横に設置しないでください。
- 直射日光が当たる場所には設置しないでください。
- セルラーネットワークへの接続に影響を与える可能性がありますので、電氣的にノイズの多い環境には設置しないでください。
- 本製品は屋内環境での使用を想定しています。本製品を屋外に設置しないでください。

# 標準適合

本製品は以下の基準に適合しています。

## アメリカ合衆国



本機は、FCC規則のパート15に準拠しており、カナダの産業用ライセンス免除RSS規格(s)に準拠しています。本機の稼働は以下の2つの条件を満たすことが前提となります。1) 本機は有害な干渉を引き起こすことはありません 2) 本機は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる必要があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes: 1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et 2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

本機は、FCC規則のパート15に基づき、クラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、居住用建物に対し、有害な干渉から適切な保護を提供するように定義されています。本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置、使用しない場合は、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。但し、本機が特定の設備に干渉しないという保証はありません。本機がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、デバイスの電源をオフにしたり、オンにしたりして判断することができますが、以下のいずれかの方法で干渉を修正するようにしてください。1) Safehubデバイスを再配置する 2) 販売店に相談してください。

本機は、制御されていない環境のために定められたFCCの放射線被曝限度に適合しています。エンドユーザーは、RF曝露コンプライアンスを満足させるために、特定の操作手順に従わなければなりません。この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に一緒に配置または操作しないでください。本機は、米国連邦通信委員会 (Federal Communications Commission) が定めた電波曝露の要件を満たすように設計されています。これらの要件は、体組織の1グラム以上で平均して1.6W/kgのSAR制限値を設定しています。

Safehub Inc.によって明示的に承認されていない本機の変更や変更は、本機を稼働させるためのFCCの認可を無効にする可能性があります。

国際



国際電気標準会議(IEC)

本製品は、情報技術デバイスの安全性に関する国際電気標準会議(IEC)60950-1規格に準拠するように設計され、試験されています。この規格の適用は、感電、エネルギー関連、火災、機械的、放射線などの危険性による傷害や損傷のリスクを低減することを目的としています。

Safehubデバイスは、本書の指示に従い、一般的に守られている安全手順に従って設置・使用することで、これらの危険性を最小限に抑えるように設計されています。本機の開梱、設置、操作、サービス、アン設置、または再梱包を行う際には、本書に記載されているすべての警告に従ってください。

これはITE(Information Technology Equipment)デバイスで、商業オフィス、コンピュータールーム、および関連する商業施設での使用に適しています。選択されたタイプの住宅、産業、医療環境を含むが、これらに限定されない他のタイプの施設には適していない場合があります。特定の場所での使用に疑問がある場合は、Safehubに連絡してください。

## Safehub限定ハードウェア保証

本限定保証には、お客様の権利および義務、ならびにお客様に適用される制限および除外事項に関する重要な情報が含まれています。

Safehub Inc. (以下「Safehub」、「当社」、「当社」または「当社」)、そのセンサーハードウェアおよび内蔵ソフトウェア(以下「製品」)が、本書に記載されているように、またSafehubが公開しているユーザーマニュアルに従って、納入日から3年間、材料および製造上の欠陥がないことを保証します(以下「限定保証」)。

この限定保証は、Safehubおよびその正規販売店から製品を購入した場合にのみ有効であり、適用されます。Safehubのシリアルナンバーやサービスラベルが消去されている場合は、この限定保証は適用されません。本限定保証は、本製品の使用が中断されないこと、またはエラーが発生しないことを保証するものではありません。さらに、この限定保証は通常の消耗、製造上の欠陥や材質上の欠陥に起因しない原因、Safehubの認定を受けた者以外の修理、分解、適用される文書に従った製品のメンテナンスやサービスの欠如、製品の使用上の事故や過失、製品の乱用や不適切な使用、製品内部に砂や液体物の流出、水、火傷、異物の存在、ネットワークの電圧のスパイクや低下、または設置ガイドに記載されている電圧と一致しないネットワークへの本製品の接続、または不可抗力や天災地変による損害、一般的には洪水、地震、火災、雷雨、暴風雨、衝撃、不適切な輸送による損害を含むがこれに限定されない、Safehubの合理的な管理の及ばない事由による損害などから生じる損傷や欠陥には適用されません。

この限定保証に基づく請求を行うには、当社のカスタマーサービス部門(customer-service@safehub.io)までご連絡いただき、お客様のお名前、ご連絡先情報、製品のシリアル番号およびサービスラベルをお知らせください。製品をSafehubに送付していただき、Safehubが製品のテストを行い、クレームを確認します。有効なクレームの場合、Safehubはその単独の裁量で、法律で認められている範囲内で、お客様の製品を新品または再生品を使用して修理するか、またはお客様の製品をお客様の製品と同等以上の機能を持つ新品または再生品と交換することがあります。Safehubが製品を修理または交換した場合、修理または交換された製品は、当初の保証期間の残りの期間のみ、この限定保証の下で保証され続けます。

この限定保証は、Safehubが製品に対して提供する唯一の明示的な保証であり、適用される法律で認められている最大限の範囲で、ここに記載されている救済策がお客様の唯一の救済策となります。適用される法律で認められている最大限の範囲内で、Safehubは、製品に関する行為の過程またはその他の方法で生じた、法令上または黙示を問わず、製品に関するその他のすべての保証および条件を明示的に否認します。適用される法律で認められている最大限の範囲において、いかなる場合でも、Safehub、その関連会社、代理人、取締役、従業員、サプライヤーまたはライセンサーは、本限定保証の違反または製品の使用または使用不能に起因する利益、善意、使用、データまたはその他の損失の損失に対する損害を含む、直接的、間接的、懲罰的、偶発的、特殊、必然的、または一時的な損害に対して、限定保証の違反または製品の使用または使用不能に起因する利益、善意、使用、データまたはその他の損失に対する損害を含め、いかなる損害に対しても責任を負いません。Safehubの従業員、代表者、その関連会社、または第三者は、本限定保証または本契約のいずれかの部分の修正、拡張または追加を行う権限を与えられていません。本限定保証のいずれかの条項が違法または実行不能であると判断された場合でも、本限定保証の残りの条項は有効に存続します。

一部の州、地方、または司法管轄区では、特定の黙示の保証または偶発的または結果的な損害の除外または制限を認めていないため、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。本契約は、お客様に特定の法的権利を与えるものであり、お客様は、裁判によって異なる他の権利を有することができます。本契約に基づく免責、除外、および責任の制限は、適用法で禁止されている範囲では適用されません。

## 連絡先情報:

住所: 2122 Bryant St., San Francisco, CA 94110

Web: [www.safehub.io](http://www.safehub.io)

電子メール: [customer-service@safehub.io](mailto:customer-service@safehub.io)

00148-01 Rev. A